
私の恋愛事情

鈴夜 音猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の恋愛事情

【コード】

N5319N

【作者名】

鈴夜 音猫

【あらすじ】

恋愛に無縁の私が”恋”するなんて思ってもみなかった。

”恋”なんてするもんじゃない。ずっとそう思ってた。

周りの子たちが楽しげに繰り広げる恋バナ。それから気を逸らすため、私は両耳にイヤホンを突っ込んだ。

お気に入りの曲を聞きながら、携帯で見るのは恋愛小説だったりする。けど生まれてきて20年、現実はそんなに甘くないって身を持って思い知らされてる。

男の子が求めてるのは可愛い女の子。中身が、じゃなく見た目が、だ。

例え中身を見る人がいたとして、こんな根暗な私には目もくれないだろうけど。

よく「デートで夜景を見る」なんてお決まりのパターンがあるけど、私には通用しない。あんなのは単なる電気の無駄遣いなのに、何が楽しいの？っていうのが私の意見。

高いものより安いものを選ぶし、服装だって地味だ。そんな私を”好きだ”って言う人が現れるなんて、全然思っても見なかった。

「付き合ってくれるかな？」

何度か遊んだ男の子からふいに言われた一言。突然のことにきよ

とんとしつっ、私はああ、と頷いた。

「いいよ。どうにこ？」

私の答えに今度は相手がきよとんとする。

けど私は至って本気だった。だってまさか自分が告白されるなんて思ってたんだから。

こんな始まりありなのか？と疑いたくなる程、馬鹿げた始まり。それでもいいと思えるのは、彼の傍にいられる幸せを知ってしまったからかもしれない。

このままずっと一緒にいられたらいい。楽しい時も、悲しい時も。そして全て一緒に分け合えたら、私たちはもっと近付ける気がする。

”恋”なんてするもんじゃない。ずっとそう思ってた。

でも、どんなに辛いことがあっても私はあなたの隣にいたい。

辛い気持ちもあなたの笑顔で吹き飛んで、きっと私も笑顔になれる。そうして幸せを感じることが出来るから。

これが”恋”なら、そんなに悪いものじゃないって今ではそう思えるんだ。

【End】

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5319n/>

私の恋愛事情

2010年10月9日07時11分発行